

ソロモン地震復興支援 AMD Aが調整員派遣



出発前に現地調査の確認を行つ館野調整員(右) 11 J R岡山駅

係者との協議などを通し、AMD A側の復興支援策を検討する。

同諸島を襲つた地震の規模はマグニチュード8・1で、最大約十倍の津波が押し寄せた。少なくとも五十人が死亡し、約一万人が被災したという。AMD Aは災害発生後、インドネシア支部の医師を被災地に送り、緊急医療活動を行った。

館野調整員は「現地の人たちの生活再建に貢献できるよう、力を尽くしたい」と話していた。

(臼杵正純)

関西国際空港からオー

ストラリアを経由し六

日、同諸島の首都ホニア

ラに入る。約二週間の滞

在中、島々の医療機関の

被害状況を現地政府担当

者と確認するほか、現在

支援に当たっている国連

児童基金(ユニセフ)関

四月に起きた地震と津波で被災した南太平洋・

ソロモン諸島の復興に向

け、国際医療ボランティア

AMD A(本部・岡山

市橋津)の館野和之調整

員(四巴)が四日、現地調査

のためJR岡山駅を出発

した。